

# 前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第67号

H28. 6. 14

## 「前芝学校」がスタートして

～小中一貫校開校記念式典 ご参加ありがとうございました～

6月4日は、公開授業参観・開校記念式典・健全育成会（記念講演会）へのご参加、ありがとうございました。

多くのご来賓や、設置者の豊橋市より佐原市長・教育委員会関係者をお迎えし、盛大に行うことができました。

祝辞の中で、ご来賓が、今年の修学旅行に国会議事堂で出会った時の前芝中生の見学態度を、「さすが前芝学校の最高学年として、お手本の姿」と話されました。3年生をほめていただき、心よりうれしく思いました。



【凜とした空気の中で 市長あいさつ】



【パワーポイントで学校紹介】

第1部では、前芝学校の教育方針と教育活動を、映像を使って20分程度で説明させていただきました。当日の要項に、「前芝学校」のパンフレット（モノクロ版）を綴じましたが、カラー版を6月中旬に、校区の回覧板で各家庭、一部ずつ配付させているので、合わせてご覧ください。

健全育成会は今年度より、議事は事前の役員・委員による総会で提案・ご承認いただき、全体会は講師をお招きしての講演会という形になりました。

今年度の講演会は、開校記念式典に合わせ、前芝の子どもたちのために、豊橋市出身で日本のスポーツ界で活躍しているトヨタ自動車陸上部の『山本修平選手』を、講師としてお招きいたしました。



【生きざまを語る山本修平選手】

### 山本選手へのお礼の手紙より（抜粋）

- 実際に体を動かしながら話を聞いたので、よくわかりました。食事は、代表選手にはしっかり栄養を考えてくれる人がいて栄養管理ができているとわかり、すごいと思いました。
- 山本選手は夢を叶えるために高校を選んだそうなので、僕もしっかり考え選びたいです。
- ゴールする瞬間は「とにかく気持ちよかった」と答えていたけど、この言葉は全力で頑張った人が言える言葉なので、いつかこの言葉が言えるようなことをしたいです。
- 最初のDVDを見て、たすきをつなぐ前に仲間に声をかけていて、とても素晴らしい協力だなと思いました。陸上はそこまで得意ではなかったけれど、話を聞いて興味をもちました。
- 心に響いたのは、チームワークです。今バスケット部に入っているの、今の仲間と最高のチームを作り最後の大会に臨めるようがんばります。ためになる話をありがとうございました。
- 修平選手のように日々夢を意識し、自分を好きになり自分に負けないように頑張ります。
- 一番心に残ったのは、「夢をあきらめないで挑戦すること」「最後は自分」ということです。

H28.6.5  
東愛知新聞掲載

# 小中一貫校「郷土愛と挑戦」

## 駅伝の山本選手が門出祝う講演

### 豊橋前芝学校で開校記念式典

東三河で初となる小中一貫校・豊橋市前芝学校で4日、開校記念式典があり、記念講演で豊橋出身の全日本実業団対抗駅伝(元百)の優勝に貢献した山本修平選手(25)トヨタ自動車



子どもらに走り方のフォームを指導する山本選手  
＝豊橋市前芝学校で

車<sup>1</sup>が、児童生徒らへ挑戦することの大切さについて語った。この日は全校児童・生徒と保護者、地域住民ら約650人が参加し、新たな門出を祝った。

谷中緑中学校校長は「15歳の春、学校を巣立つとき子どもたちが前芝を愛する心をもち、人と人とのつながりをつくる力を持つことを目指し、行事や授業、日常活動で意識し、充実した教育活動を進めていく」とあいさつ。続く講演会では、山本選手が幸小学校から高師台中、時習館高校を経て、1年間の浪人の末に早稲田大学へ入学した当時を振り返り、「失敗を恐れずやりたいことに挑戦して。間違ったら先生に怒られればいい」とエールを送った。ほかに、走り方やストレッチの仕方を指導したり、質問に答えたりして子どもたちと交流。最後に大切なこととして①あいさつ②挑戦する③感謝の気持ちを持つ④自分を好きになることを挙げ、「最後に戦うのは自分、自身を信用していないと力を発揮できない」と訴えた。(飯塚雪)